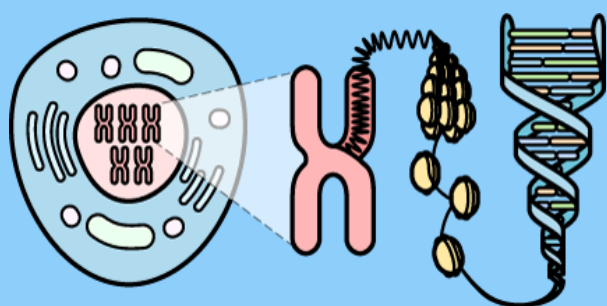


遺伝リテラシーって何？

～ゲームを通して学びましょう～



9月16日(土) 14時～16時

(13:40～受付開始)

会場：兵庫医療大学 P棟2階
地域連携実践ステーション

対象：成人女性

「どうして必要なの？」

遺伝医療が発展し、遺伝子検査などを受けるかどうか悩む女性が増えています。

そのため、遺伝について適切な知識をもち、遺伝医療について自己決定できる能力である“**遺伝リテラシー**”の必要性が高まっています。



「どうやって学ぶの？」

遺伝と聞くと“難しい”と思う方が多いかもしれませんが、でも、心配はいりません。

お茶をしながら簡単な遺伝学習ゲームに参加し、リラックスして遺伝について楽しく学びましょう。

参加費 無料

- 定員：20名 ※ 先着申込み順
- 申込方法：裏面にご記入の上、FAXにてお申込みください

主催：兵庫医療大学 社学連携推進機構
担当：兵庫医療大学 看護学部 片田千尋

遺伝リテラシーって何？

近年、受けられる医療の選択肢が増え、難しい選択を迫られる場面が増えています。なかでも、遺伝子検査を受ける場面が増え、検査を受けるかどうかの選択が必要となる人が急増しています。遺伝子検査には、出生前診断やがん遺伝子の有無の検査に加え、自宅で受けられる肥満遺伝子や子どもの才能の検査など、女性に関心をもちやすい検査が多くみられます。しかし、日本人女性は遺伝に関する知識が不足していると報告されており、安易な受検が懸念されています。

遺伝子検査では検査を受ける本人だけでなく家族に関わる遺伝情報も明らかになるため、異常が判明した場合、本人だけでなく家族の苦悩や“知らないでいる権利”の侵害にもつながります。そのため、女性が遺伝について正しく理解し、遺伝子検査の受検について自分で意思決定できる能力である“遺伝リテラシー”を向上するための教育が求められています。

このプロジェクトでは、ゲームやグループワークを通して、参加者の皆さんに楽しみながら“遺伝リテラシー”を向上して頂くことを目的にしています。

お申し込みの方は、この用紙にご記入の上、下記までご送信ください。

FAX送信先 078-304-2713

ふりがな		ご年齢
お名前		歳
連絡先 電話番号	()	

<研究協力へのご案内>

本プロジェクトは、科研費若手研究B（課題番号：16K20809, 研究代表者：片田千尋）の研究に基づくプログラムです。研究参加に関心をもたれた年齢20～49歳の女性がいらっしゃいましたら、以下の□に✓をご記入ください。詳細な説明をお送りいたします。

説明を読まれた後に、研究へのご参加の有無をご検討ください。

研究に参加してくださる方には、謝礼として3000円のクオカードを差し上げます。

研究についての詳細な説明がほしい

※ご記入いただいた個人情報は、本企画以外の目的には使用いたしません